

VOL.

153

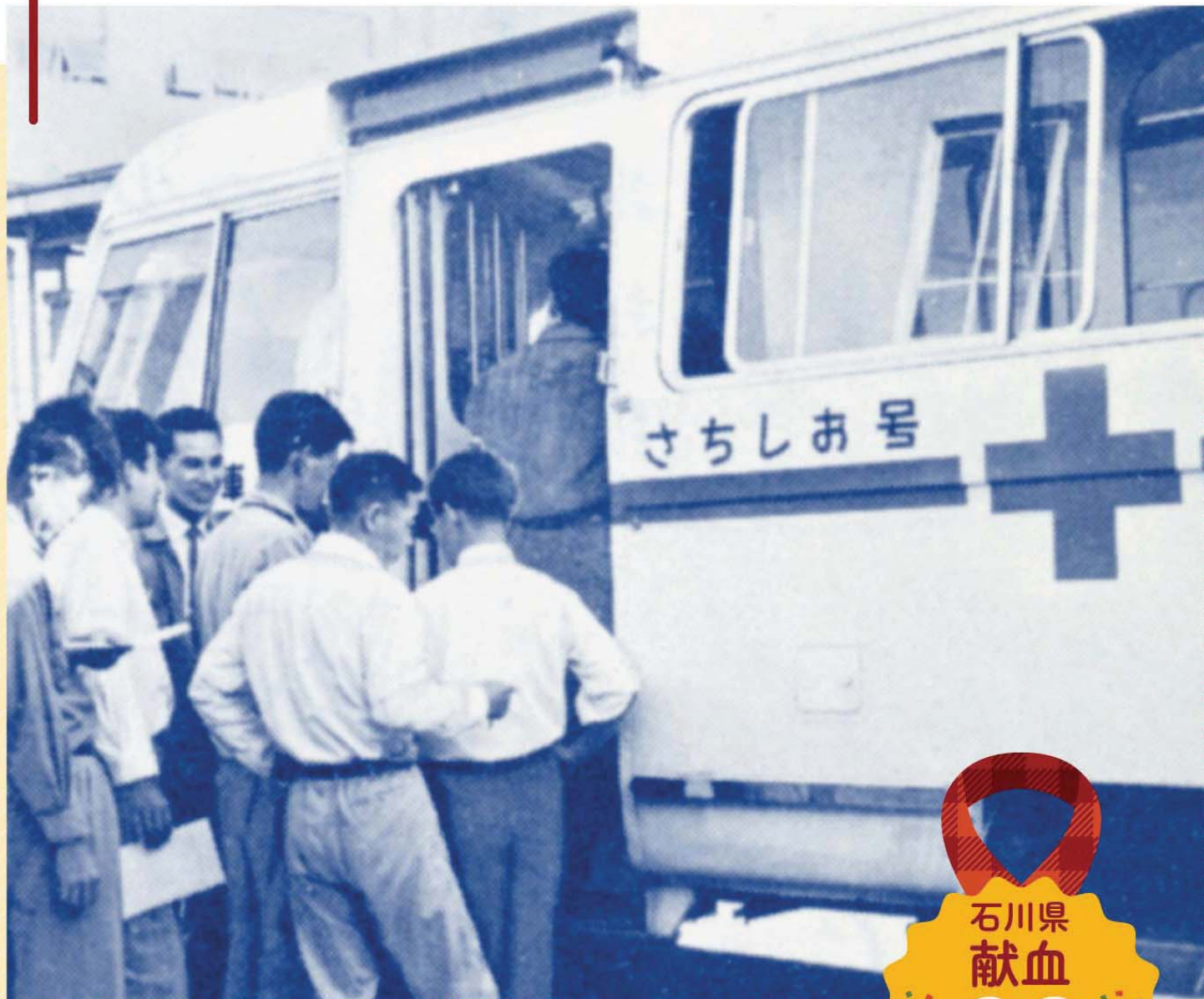
SACHISHIO
2025 JAN

さちしお



石川県
赤十字血液センターHP

「血液事業をとおして、みなさまの幸に貢献する」との願いを込め、幸せの「幸(さち)」と「血潮(ちしお)」を組み合わせ、名付けられました



昭和40年1月に石川県で初めて献血(美川町青年団36名)を実施してから、今年で60年を迎えました。

長きにわたる皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

今後ともより一層ご協力くださいますようお願いいたします。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

石川県赤十字血液センター

年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆様には日頃より献血へのご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

昨年1月1日、能登半島を中心として石川県は未曾有の大地震に見舞われました。震災関連死を含めると、石川県だけで450名以上の方がお亡くなりになられるという大災害です。被災された方々には心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

石川県赤十字血液センター 所長

中尾 眞二

石川県は、バス1台あたりの献血数が全国でもトップクラスであり、その中でも能登地域は献血率が特に高く、「能登はやさしや土までも」の言葉にあるとおり、善意にあふれる方々が沢山おられます。今回の震災により、これまでのように能登地域にバスが訪れることができなくなり、献血数の大幅減が心配されていました。しかし、そのような危機的状況を心配された県内他地域の皆様のご協力があり、令和6年12月までは令和5年度以上の献血数が確保できております。皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

震災の影響は今後何年も続きます。また、少子高齢化はさらに進み、このままでは2030年までに血液需要が献血数を上回ることが予想されています。令和7年も皆様には献血になお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



日本航空高等学校石川（輪島市）で震災後初献血を実施しました

11月8日(金)、輪島市内では震災後初となる献血を、日本航空高等学校石川にて実施しました。同校では、震災前から毎年献血バスを派遣し、学生や教職員の皆さまにご協力をいただいており、当日は主に野球部に所属する学生や隣接する奥能登行政センターの職員の皆さまからのご協力があり、1日で63名もの方々にお越しいただきました。

皆さまのご協力ありがとうございました！



命はつながっています ~献血へのご協力、ありがとうございました~

献血ルーム くらつき

まつ だ けん じ
松田健二さん
(宝達志水町在住)

22歳で青年警察官の頃に献血を始め約50年、70歳となり今回で最後となりました。

「コロナ禍でも、誰かのために今できることを」

緊急事態宣言後、「血液不足」の報道がありました。私はコロナ感染することなく今日に至っており、この期間も月1回の献血を続けました。投薬治療等のない健康な自分の血液が、誰かのためになればという気持ちで、今日まで献血を続けてきました。センター、ルームの皆さん御世話になりました。



最後の
献血

✂ 永年献血 ✂

献血ルーム くらつき

き た すみ こ
喜多澄子さん
(かほく市在住)

最後の
献血

最初は職場の人に声をかけられて献血に行っただけがきっかけです。ボランティアとしてこれならできると、体調管理も兼ねて、2週間に一度の成分献血をしていました。最後に目標としていた150回を達成できて良かったです。



✂ 永年献血 ✂

献血ルーム くらつき

金沢西高校 1年7組の仲間たち



5名全員献血できました！

初めての
献血

✂ 献血フレッシュさん ✂

献血ルーム ル・キューブ

とく だ くに あき
徳田邦昭さん
(金沢市在住)

献血のきっかけは、娘さんが出産の際に輸血を受け、献血の重要性・命を繋ぐボランティアであることを強く感じたことからだそうです。これまで多くの献血をいただき、ぴったり200回目の記念で最後となりました。いつもご協力いただく際には、ル・キューブスタッフへの温かいお言葉やお気遣いをいただきありがとうございました。



最後の
献血

✂ 永年献血 ✂

献血ルーム ル・キューブ

むら かみ きみ かず
村上公一さん
(金沢市在住)

最後の
献血

40年前にお父様が心筋梗塞を患ったことをきっかけに献血を始められたそうです。手軽にできるボランティアとして、積極にご協力くださいました！献血を通して、健康であることの大切さや、いざ自分の大切な人が輸血を必要になったときの重要性を強く感じられたとのこと。これまで永年にわたりご協力いただきありがとうございました。



✂ 永年献血 ✂

献血ルーム ル・キューブ

くも の てる まさ
雲野照正さん
(金沢市在住)

献血を始められたきっかけは、ランニングを通して健康に向き合うようになったことだそうです。献血後の検査値をご自身でデータ管理され、健康管理に役立てているとお話されていました。ライオンズクラブの一人として、献血推進活動にもご尽力いただきました。

「ほんのちょっとした愛を届けてください」と献血の先輩から、若年層へのメッセージもいただきました。長きにわたり、献血へのご協力ありがとうございました。



最後の
献血

✂ 永年献血 ✂



緊急地震速報受信後または 災害直後の献血者への対応



令和6年能登半島地震から1年が経過しました。復興もまだまだ進んではいませんが、少しでも早く日常が戻ることを祈っております。

このような状況下ではありますが、私たちも地震に備えて万全の対応ができるよう日々訓練しています。安心して献血へのご協力をお願いいたします。

1

穿刺前ならすべての作業を一旦中止します

Stop!

2

全看護師は、献血者のベッドサイドに配置し、
転落防止に努めるとともに
針が抜けないよう注意し安全を確保します

Safety!

3

揺れが落ちついたら抜針するので
そのままベッドにいてください

Stay!

4

献血者の動揺を抑えるように対応します

Calm
Down!

5

避難するか献血を続けるか
スタッフが指示を出すので、
その場で待機して落ち着いてお待ちください

Instruct!

ご協力のほど お願い致します

【献血のできる場所】 献血ルーム ル・キューブ／献血ルーム くらつき／献血バス



新職員紹介

みなさん
よろしくお願いします

なか え り か
献血ルーム ル・キューブ 中江里香さん

血液センターでの勤務となり、献血者様の「輸血を必要としている人に貢献したい」という奉仕の精神に日々感銘を受けております。これからも技術を磨き、心地よい献血環境を作っていくよう努力します。

